

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	総合国語ⅠA	
科目基礎情報							
科目番号	0009			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	国語総合改訂版 現代文編・古典編（大修館書店）／新総合図説国語（東京書籍）／常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						
担当教員	足立 繭子						
到達目標							
1. 漢字・語彙・文法など、言語に関する知識を身につけ、それらを説明することができ、それらを使用して文章を作成することができる。 2. さまざまな文章を読み、文章の論理に即して内容を捉え、言語を用いて説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
教材の文章に用いられている漢字・語彙・用法について、説明・使用することができる。	文章中の語句を用いて文章作成ができる。			文章中の語句の語意を説明できる。		文章中の語句の語意を説明できない。	
教材の文章の内容について、説明ができる。	文章の主旨を規定の字数で表現できる。			文章の主旨を説明できる。		文章の主旨を説明できない。	
古典教材の文章の文法や句法について、説明することができる。	教材の文章以外の古典の文章の、文法や句法に基づき、正しく文章を読むことができ、文法や句法を説明することができる。			文章中の文法や句法に基づき、正しく文章を読むことができ、文法や句法について、説明できる。		文章の文法や句法に基づいて文章を読むことができず、文法や句法について、説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	漢字、語彙、文法など、言語的な知識を身に付け、古典を含むさまざまな文章を読み、論理構成に即して、主旨を理解できるようにする。読んだ文章を通して、さまざまな問題について、自身の意見や考えを持ち、適切に表現できるようにする。						
授業の進め方・方法	担当教員による単独講義、演習。但し、授業前に学習プリントや授業プリントを配布して、予習課題とする。						
注意点	他人の書いた文章を正確に読むことや自分で苦労して文章を書くことを通じて、自らの感じ方や考え方を磨いてゆくのだという意識を持ってほしい。なお、授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・新入生課題テスト・山崎正和「水の東西」①		授業の内容についての説明。新入生課題を確認するテストの実施。言葉やコミュニケーションに関わる「国語」という科目を、なぜ学ぶのか、自分なりの考えを説明できる。		
		2週	山崎正和「水の東西」②		「水」をめぐる西洋文化との比較により、日本人の感性について説明できる。		
		3週	連休課題漢字テスト・西研「自由な主体に必要な「尋ねあい」①		連休課題を確認する漢字テストの実施。「尋ねあい」が自由な主体を獲得していくために必要な条件であることを、文章の内容に即して説明できる。		
		4週	西研「自由な主体に必要な「尋ねあい」②		集団や社会における「尋ねあい」の重要性について、文章の内容に即して説明できる。		
		5週	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」①		なぜ古文を読むのか、古文と現代文の違いについて理解した上で、説明できる。五十音図、歴史的仮名遣い、助詞や体言の補いなど、古文読解の基本を理解した上で、歴史的仮名遣いを正しく読め、書くことができ、必要な語句を補って現代語訳をすることができる。		
		6週	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」②		「児」の気持ちの変化を整理し、内容に即して説明できる。エピソードの最後で、僧たちが「笑ふ」のはなぜかについて、説明できる。		
		7週	『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」①		歴史的仮名遣いを正しく読め、書くことができ、必要な語句を補って現代語訳をすることができる。古文の用言の活用について学んだ上で、それぞれの活用表を作ることができる。		
		8週	『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」②		火事に遭った良秀が、なぜ「せうとく」だと言うのか、その理由を周囲の反応と比較しながら、説明できる。		
	2ndQ	9週	前期中間試験		第1～8回の授業の内容について、理解度を確認する。		
		10週	前期中間試験の答案返却と解説・芥川龍之介「羅生門」①		中間試験の答案返却と解説。羅生門の下にいた場面から、老婆の行為を目撃した場面に至る、主人公の心情の変化について、説明できる。		
		11週	芥川龍之介「羅生門」②		羅生門の楼上の場面における、主人公の心情の変化について、説明できる。語り手の存在に着目し、それがどのような効果を上げているのか、説明できる。		
		12週	漢文入門（訓読・返り点・再読文字・助字・訓読に親しむ）①		漢文が現代日本の言葉や思想の礎になっていることを知った上で、熟語・単語・格言について漢文としての構造を理解し、正しく訓読できる。返り点や助字など、漢文訓読に必要な基礎知識を理解し、正しく訓読できる。		

		13週	漢文入門（訓読・返り点・再読文字・助字・訓読に親しむ）②	置き字や再読文字などに注意して、正しく訓読でき、正しく書き下し文を作ることができる。
		14週	故事成語『戦国策』「漁父之利」・「蛇足」	故事成語の出典となる短い文章を正しく訓読でき、寓意について説明できる。また、故事成語の意味を説明できる。
		15週	期末試験	第10～15回の授業の内容について、理解度を確認する。
		16週	答案返却と解説、授業アンケート、夏期研修課題配布と説明	期末試験の答案返却と解説。夏期研修課題の配布と説明。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前1,前2,前3,前4,前9,前10,前15
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	前1,前2,前3,前4,前9,前10,前15
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	2	前1,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前14,前15
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前1,前3,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	前1,前3,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前1,前3,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	前1,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	前16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	前9,前10,前11,前16

				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前9,前10,前11,前16
評価割合						
	試験	課題テスト	提出物	合計		
総合評価割合	70	15	15	100		
基礎的能力	10	10	10	30		
専門的能力	50	5	5	60		
分野横断的能力	10	0	0	10		